



ダムの役割について
 沖縄総合事務局開発建設部流域調整課

仕事の紹介 沖縄総合事務局 開発建設部 流域調整課

沖縄総合事務局では、洪水を防ぎ、水道用水などを供給する目的で福地ダムをはじめとする9つの多目的ダムを管理しています。(図1、写真1、写真2、写真3)

沖縄本島で1日に使用される水(約44万m³)の約8割(約35万m³)が9つのダムから供給されています。(図2)

ダム建設時、環境にも配慮しており、漢那ダムでは第2貯水池をビオトープ※として整備し、水鳥やトンボなどの貴重な生息地となっています。(写真4)

また、ダム湖を活用した地域振興の支援を行っており、安波ダムでは亜熱帯ジャングルカヌー体験を行っています。(写真5)

※生物や植物が生活できるように復元した空間

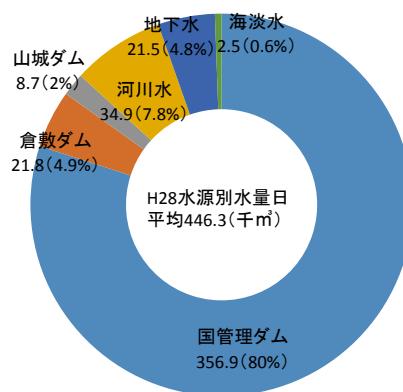


図2 H28水源別水量日平均



写真1 福地ダム(東村)

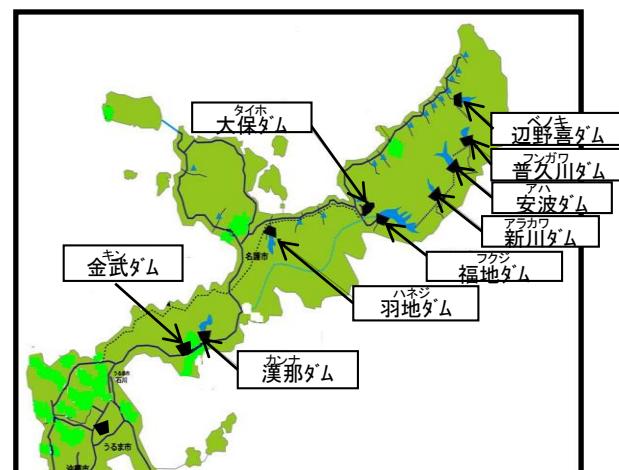


図1 沖縄の多目的ダム



写真2 コンピュータによるダムの管理



写真3 定期的に上空から地形を調査

Message

普段何気なく使用している水道水がどこから来ているのか考えたことはありますか。ダムに関わる仕事は生活、防災、観光など多岐にわたり、沖縄の水について考える重要な仕事だと思います。今話題のダムカードも各ダムにありますので、ぜひ足を運んでみてください。鹿屋高校(県外)/琉球大学 水流宗孝

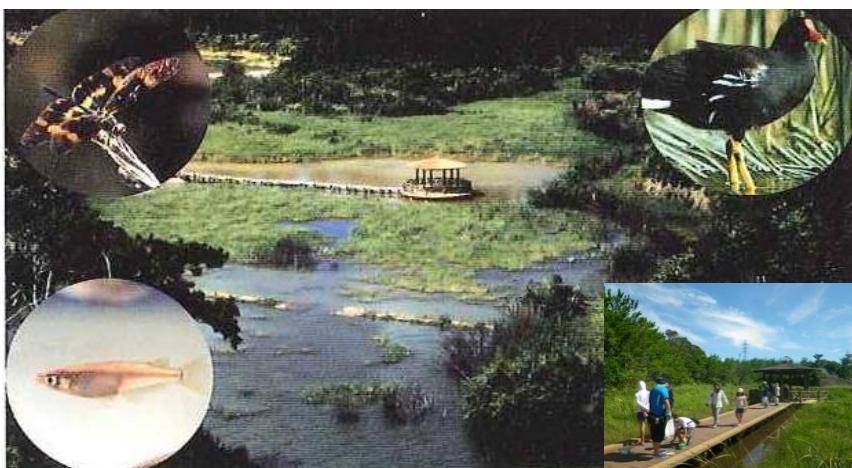


写真4 小学生などの環境学習の場となっています



写真5 迫り来る亜熱帯のジャングルを抜け川の生物観察を体感